

1-5 災害時の対応

災害などの非常時に備えて、日頃から必要なものを準備して、学校での体制を整えておくことが重要です。

以下の資料などを参考に、災害時の対応をできるようにしておきましょう。

参考資料

「災害時のこどものアレルギー疾患対応パンフレット」 日本小児アレルギー学会

https://www.jspaci.jp/assets/documents/saigai_pamphlet.pdf

※パンフレット作成時の災害対応委員会には、なんぶ小児科アレルギー科 院長 南部光彦氏が委員として参加されました。



避難所におけるアレルギー対応（行政担当者用）

アレルギー疾患を有する児童生徒は避難所での生活に困難が生じやすく、配慮が必要です。また、ぜん息発作やアナフィラキシーを発症した場合、緊急時の対応を的確に行えるよう、準備が必要です。

◆ ぜん息の児童生徒のために

- 発作の原因（ホコリやダニなど）を吸い込まないようにすることが大切です。避難所における生活環境の管理・改善に配慮してください。
- 電動の吸入器が必要な場合、優先的に電源を使用できるようにしてください。

◆ アトピー性皮膚炎の児童生徒のために

- 普段から皮膚を清潔に保つことが大切です。可能であれば、1日1回石けんを使って、シャワーや入浴ができるようにしてください。
- 薬を塗る時や着替える時に、周囲の目に触れない場所を確保するようにしてください。

◆ 食物アレルギーの児童生徒のために

- アレルギー対応食などの支援物資は一般物資と区分し、児童生徒に適切に届くように管理体制を整えてください。
- 避難所における食物アレルギーへの理解を啓発・周知するようにしてください。